

I 学校の教育目標具体化のための全体計画

1 学校の教育目標

「学び」の精神をもち、仲間を思いやり、たくましく生きる生徒の育成

2 目指す生徒像

ふ ふるさとを愛し、広い世界に羽ばたく生徒

『「学び」の精神』を主体的な探究心と捉えるとともに、知・徳・体の基盤となる自主、自律や自他の自由と個や集団の責任を大切にすることを育てる。

ふなはし

目指す学校像

健康・安全な生活を基盤として、人間的・社会的な成長を目指す学校

信頼される学校

目指す教師像

生徒との豊かな関わり合いのもと、誠実に子供と向き合う教師

信頼される教師

し

知る喜び、わかる喜びを求めて、学び合う生徒

具体的な施策

- ふなはし「学び合い」スタイルを基本とした授業展開
- ・5教科における課題解決的な学習の取組(問題発見)
- ・生徒のアウトプットを重視した授業
- ・T・Tによる指導の充実
- 家庭学習の習慣づくり
- ・「TO DOリスト&自学ノート」の利用
- ICTを活用した効率の良い授業

な

仲間を思いやり、相手の立場になって考える生徒

- 学校の教育目標を貫く重点内容項目の設定と実施
- ・「自主、自律、自由と責任」A-(I)の繰り返し実践
- 読書活動の推進
- ・朝読書の継続
- 人権教育の充実
- ・各種調査等を活用したいじめや不登校等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 自治活動を通じた居場所づくり
- ・主体性のある活動内容
- ・挨拶運動

は

働くことにやりがいを感じ、心と体の健康に努める生徒

- 健康・安全教育の充実
- ・通年健康観察と環境保全・安全教育の実施(避難訓練、交通安全教室、不審者訓練)
- ・学校事故の防止
- メディア利用時間のコントロール
- 課題を踏まえた体力の向上
- ・過去の体力・運動能力調査結果の活用
- ・体育科授業の工夫による運動強度の確保

3 本年度のアクションプラン

3年計画
3年次

- 家庭学習の計画的な取組「TO DOリスト&自学ノート」を利用して生徒への助言を週に一度実施することを90%行う。

- 道徳科重点内容項目の共通実施
- 自主、自律、自由と責任A-(I)を各学期2回の実施を90%行う。

- メディアの計画的な利用
- 「TO DOリスト」を利用して計画的な利用に向けた助言を週に一度実施することを90%行う。

4 研修の取組

研修主題

自ら考え、共に学び合う生徒の育成

副題：確かな学力を実現させるための、課題のありかた(子どもの課題意識を高める「とやま型学力向上プログラムⅢ期」)

5 連携・協働体制

- 小学校等との連携(舟橋小中学校コミュニティ・スクール)
 - ・小中9年間を見通した学びの世界(地域連携、人格形成、健全育成、協働学習の4つの視点による実践)、ふるさと教育を通じた課題解決能力の育成、学校図書の地域一元化
 - ・各主任、管理職等による情報共有、授業相互参観
 - ・立山区域小中学校との連携
- 家庭や地域、行政との連携
 - ・ふなはしテトラ協働本部:舟橋村地域学校協働本部を中心とした組織
 - ・地域学校協働活動(読書、学習、ふるさと教育、挨拶運動)
 - ・学校運営協議会による学校評価
 - ・学校便り、HP、あんしんメール等による積極的な情報発信と共通理解
 - ・育成会、同窓会等との連携、協力及び事業予算等の効果的運用
- 外部関係機関との連携
 - ・東部教育事務所や支援センター校、児童相談所、中部厚生センターとの連携

